



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

2023/5月号 第281号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

げっかん がつ
〜サロン月間カレンダー〜5月〜

しんねんど
「新年度のサロンがスタート」

■日本語学習会

日時：5月8日（月）～5月31日（水）
月（午前・午後）水（午後）金（午後・夜）

場所：フチュール会議室

注：5月1日・3日・5日・12日はお休みです。

また、期間限定で土曜日にも学習会を開催します。

詳しくは「みんなの広場」をご覧ください。

「フチュール」への移転も無事に済み、4月7日（金）から日本語学習会をはじめ「府中国際交流サロン」の活動がスタートしました。4月12日（水）

には、新年度第1回目の実行委員会も開催され、2023年度（令和5年度）の実行委員が以下のように決まりました。

また、今年度の予算も承認されました。詳細は、「みんなの広場」をご覧ください。

■実行委員会

日時：5月10日（水）午前10時半～昼12時

場所：フチュール学習室

【今年度の実行委員紹介】

【役員】

会長 和田泰弘
副会長 堤林初音
同上 島田ふみえ
同上 末田圭治
会計 小林義弘
安達みゆき
監査 菊池加代子
辻村俊雄

■日本語教授法研修会

日時：5月11・18・25日（木）午後2時～4時

場所：フチュール第1会議室

詳しくは「みんなの広場」をご覧ください。

■文化交流部会生け花教室

日時：5月26日（金）午前10時～

場所：フチュール工芸室

参加費：500円

*ダンス教室についてはサロン事務局で聞いてください。

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

【日本語学習部会】

月曜午前 部会長 江澤順子
副部会長 笹崎綾子
山下英子
月曜午後 部会長 萱生由美子
副部会長 佐藤英子
同上 三好京子
水曜午後 部会長 島田ふみえ
副部会長 末田圭治
金曜午後 部会長 寺岡奈都子



世界の文化

「わたしのふるさと ミャンマー」

ティリ コ (ミャンマー)

ふくぶかいちょう 副会長
 どうじょう 同上
 きんようよる 金曜夜
 ぶんかいちょう 部長
 ふくぶかいちょう 副会長
 どうじょう 同上
 どうじょう 同上

こばやしよしひろ 小林義弘
 よしえみゆき 吉江美幸
 ももいかずひこ 桃井和彦
 わかさ ゆたか 若狭 裕
 さいとうひさこ 斎藤久子
 なかのひろこ 中野寛子
 いはらひろみ 井原博美

【日本語ボランティア研修部会】

ぶんかいちょう 部長
 ふくぶかいちょう 副会長

けんしゅうぶかい 研修部会
 こすぎえいこ 小杉英子
 さとうえいこ 佐藤英子

【企画部会】

ぶんかいちょう 部長

かんどくにお 漢人邦夫
 (副会長は人選中)

【文化交流部会】

ぶんかいちょう 部長
 ふくぶかいちょう 副会長
 どうじょう 同上
 どうじょう 同上

ありまけいこ 有馬圭子
 さとむら めぐみ 里村 恵
 えのもと 榎本フミ子
 やまぐち 山口ヴァレリー

【生活情報支援部会】

ぶんかいちょう 部長
 ふくぶかいちょう 副会長

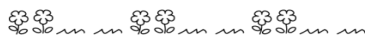
のがわとよこ 野川豊子
 もりおかあきこ 森岡暁子

【会報部会】

ぶんかいちょう 部長
 ふくぶかいちょう 副会長

つつみばやしはつね 堤 林初音
 わだやすひろ 和田泰弘

(敬称略)



わたしはティリ コと申します。これから私の故郷を紹介いたします。私の故郷はミャンマーの中央部にあるサガインという町です。サガインはミャンマー中部の都市マンダレーの南西約15キロメートルにあり、エーヤワディ川沿いにあります。アティンキャソユンという王様がビルマの年677年に設立しました。



町全体に多くの仏塔が建てられています。そして、約600個の僧院があり、僧院の町とも呼ばれています。また、川沿いにあるサガインヒルは150以上の白や金銀の仏塔や僧院があり、有名です。そして、ミャンマーの仏教信仰の中心地としても知られています。ここはミャンマーの仏教文化によって活気があり、素晴らしく、平和な雰囲気になった場所です。

観光地の紹介

ミングン・パトダウジーはサガイン地方で最も有名な観光地スポットの一つで、1790年代にポードーパヤ王が建設を開始したものの、仏塔が完成すれば国王が崩御し、国家も崩壊するだろうという予言から、意図的に未完成のままのこされました。これは最初予定していた高さの3分の1にすぎません。こ

こで、コンバウン王朝ビルマの芸術や工芸品を詳しく見ることができます。

ミングンの鐘は1808年にポードーパヤ王がミングン・パトダウジーに吊る目的で作られました。この巨大な鐘の重量は約90000kgとなり、高さは3.7mあります。この鐘は2000年までは世



民族衣装の披露

世界最大の鐘として登録されました。

ミヤティンタンパゴダは1816年にパジードー王が最愛の王妃の追悼として建立しました。パゴダを囲む波のような7つのテラスは7つの川を意味しています。仏様が天から降りるために用意されたものと同じく階段が53階あります。

特殊祭り

おおよそ7月から10月の間、14個の寺院の祭りがあります。その中で最も大きい祭りは火の祭りです。町ごとにパレードをしながら寺院に行き供え物をします。その日の夜にお寺の周りで火をたきます。次の日は、それぞれの町にパレードしながら自分の町に戻ります。

町の産業は水がめと銀細工です。



みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

千野 愛美さん (フィリピン)



「がんばっています」

2022年9月にフィリピンのミンダナオ州ダバオ市から来日しました。

お母さんは20年以上日本で働いていて、愛美さんはお祖父さんお祖母さんと一緒に暮らしていました。お母さんと一緒に暮らしたいのと、日本語の勉強をしたいのとで、日本にやってきました。

現在は川崎の、お肉を扱う食品会社で、週5回働いています。夜10時から朝7時まで働いているので、サロんで勉強していても、眠いことがあります。

趣味はテレビでの映画を見る事。前は絵を描くのが好きでしたが、今は時間がありません。

フィリピンの食べ物では「アドボ」というチキンやポークを醤油と酢、ペッパーなどで味つけたものが好きです。

日本の食べ物で好きなのは、お餅にあんこの入っているものです。スマホで日本の餅つきの動画を見て、一度餅つきをやってみたいと思っていますが、まだその機会がありません。

ご自分の性格は、恥ずかしがり屋ですが、仲良くなってしまえば、そんなことはなくなるとのこと。

フィリピンでは別れるとき、「お気をつけて」という意味の「アンピン」と言うので、好きな日本語は「気をつけて下さい」です。

将来はお母さんと一緒に住む家を持ちたいという夢を語ってくれた20歳の元気なお嬢さんです。

(取材・文構成 堤 林)

こんな教え方しています

～ 10 ～

「間違いやすい<学習者の名前>」

金曜午後ボランティア 坂倉 郁夫

今回の私の話は、首題の「教え方」に関するものではありませんが、学習者のこの上なく大切な「持ちもの」についての話です。

王毅敏さん(以降王さん)という学習者がいました。日本人と結婚した中国出身の女性です。この王さん、サロンでは『いびんさん』で通っていました。

私は王さんを担当したことはありませんでしたが、散歩の途中などで偶然会ったことがあり、そのつど王さんは、乗っていた自転車を降り律儀に挨拶してくれるので、何度か立ち話をしたことがありました。

ある日、学習会が始まる前でした。このクラスには出ていないはずの王さんがあたふたと教室に入ってくると、席についていた私のところに来て、いきなりこう言いました。

「先生、私『おういびん』じゃないみたいです」
なんでも、最近初めて教わった女の先生から、「あなたの名前、『いびん』なんて読まないわよ。『きびん』よ、『おうきびん』さんよ」と言われたよし。う～ん、言われてみればその通りで、突然の正しい指摘でした。私などなぜそれまで気づかなかったのか。間違った名前をのうてんきに呼びならわしていたのですから、とんだヌケサクでした。

王毅敏さんの中国読みは『ワンイーミン』(声調省略)、日本読みは『おうきびん』。どうやら日本読みに中国読みが混入して起こった間違いのようでありました。

このように学習者名をチャンポン読みしてしまう間違いは、中国人学習者名を日本読みしたばあいだけでなく、韓国人学習者名を現地音読みするばあいにも発生しやすいので、要注意です。

文化交流部会で長く活躍しているミャンマーのエイマさんは、サロン・デビューした当初『エイマ・チョウ』さんとして紹介されました。欧米式に「名+姓」の名前と受けとられたのだと思います。

しかし実は、ミャンマー人の名前の多くは、姓がなく名だけとわかり、しばらくして『エイマチョウ』(中黒なし)さんと訂正されました。われわれがエイマさんと呼ぶその愛称も、名前の一部だったというわけです。

姓の概念がない名だけという潔い名前を、それと知らずに姓と名に二分してしまった、こんな間違いもあったのです。

サロンの学習者が中国人に次いで多いベトナム人の姓名は、たいてい3部構成です。姓、ミドルネーム、名の順でならば、中黒(・)で区切られています。私が担当したことのあるランさんもそうでした。フルネームはグエン・ティ・ラン。このグエンというベトナムで最も多い姓が、しばしば『グエン』と書かれているのを目にしたことはないでしょうか。こう書いたほうが外国語らしく感じるのかもしれませんが、正しい表記は『グエン』。これもよくある間違いです。

サロンでは学習者の名前が間違っただま通用していることが少なくない気がします。

表記はあくまで日本のものなのに、われわれ担当者も「学習者本人が言うのだから」とつい間違いを見逃しがちです。

フェイスシートに書き込まれた学習者名は、入会時などの短時間の面接でとりいそぎ聴取されたものですから、正しいとはかぎりません。

学習者の名前をよく確認して正すべきを正す、これも担当者の仕事とすべきだと思うのですが、どうでしょうか。

「人生は名前を刻む旅」と言った人がいました。誰にとっても、名前は大切な持ちもの。間違っただま通用させたくはないものです。

あめ さくら は
「雨の『桜まつり』のち晴ればれ」

ぶんかこうりゅうぶかいふくぶかいちう さとむら めぐみ
文化交流部会副部長 里村 恵

つか わ
「『に』と『で』の使い分け」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

「雨が降りそう、でも予報確率Cならまだまだ大丈夫…」連日、一喜一憂して私の日課は二週間前から天気予報チェックで始まりました。

長かった新型コロナ禍での制約が緩和された本格的な「桜まつり」下での「民謡流し」パレードが17名の出場を待ち受けていたのです。

「国際交流サロン」のメンバーらしく出で立ちはそのそれぞれの国の民族衣装です。サロン手持ちの貸し出しを断り自国のものを購入したHさん、国の家族からわざわざ送ってもらったというPさん、友人たちから譲り受けたという色とりどりのアオザイを披露してくれたベトナムのTさん、全員が本当に楽しみにして猛練習に臨みました。

しかし当日、天気の神様は微笑んではくれませんでした。残念の極みを味わいましたが私たちは切り替えが早くすぐに慰労を兼ねてお花見会を計画し、多忙な中から半数が集まりました。

府中の森公園での桜吹雪を楽しみながらのお弁当の国際交流と珍しい風習などの語らいはサロンでの絆をより一層深めてくれました。

帰り際の皆の顔は申し分なく晴ればれとして中河原での再会をととても楽しみにしています。



ふちゆう もりこうえん はなみかい
府中の森公園でのお花見会

朝日新聞の「天声人語」は文章のお手本として知られていますが、3月17日付のそれに、助詞の使い方に違和感が残る個所がありました。

生物学者であり、民俗学者でもあった南方熊楠を紹介するくだりで、「南方熊楠は、異能の人だった。英国への滞在中に、いつもの日記のノートが切れた。」とありましたが、違和感を覚えたのは、「英国への滞在中」の「への」の使い方です。

私なら、「英国に滞在中」か「英国に滞在している時」のように、「に」を使います。

「に」と「で」は、場所を示す役割があり、その使い分けは、述部にくる動詞の性格により違ってくることを、かつて学びました。「先生は教室にいます」「駅にコンビニがあります」のように、述部に「存在」を表わす動詞がくる場合は「に」を使います。一方、「教室で勉強します」「友だちと駅で会います」のように、「動作」を表わす動詞が述部にくるときは「で」を使います。

前記の「滞在」は、動作よりも存在の意味が色濃く感じられ、私には、「英国に滞在中」のほうが自然のようにも思えます。動作として捉えようと、「英国での滞在中」とも言えるでしょう。「英国への滞在中」に違和感があるのは、「へ」には動作の方向を指す意味があり、「英国への移動中」ならしっくりきますが、「への」は、「滞在」には馴染まないように思えます。如何でしょうか。

助詞を的確に操れることは、日本語上達の大切な要素の一つです。「私 東京 横浜 行く」だけでは文が成立しませんが、「私は東京と横浜へ行く」「私も東京か横浜に行くぞ」「私が東京から横浜まで行くよ」のように、助詞が付くことによって、語と語の関係が明らかになり、生きたことばに生まれ変わります。例えるなら、助詞は、ことばの調味料とも言えるかもしれませんね。



みんなの広場

「土曜日学習会の日程と訂正」

先月号で、土曜日学習会を試験的に期間限定で開催するお知らせをしましたが、日程に誤りがありましたので訂正し、新たに全日程をお知らせします。

開始日を5月12日(土)とお知らせしましたが、正しくは5月13日(土)から始まります。お詫びして訂正いたします。

全8回の土曜日学習会の日時と場所は以下のとおりです。

- 日時：5月13日・27日(土) 午後2時～4時
- 6月10日・17日(土) 午後2時～4時
- 7月1日・15日(土) 午後2時～4時
- 9月2日・16日(土) 午後2時～4時

■場所：フチュール学習室2・学研室ほか

参加を希望する学習者は、申し込み用紙に名前を書いて、担当のボランティアに伝えてください。

詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。
(編集部)

「日本語教授法研修会開催のお知らせ」

前年度に引き続き、今年度も下記の要領で「日本語教授法研修会Ⅰ・Ⅱ」を開催します。

日程：*教授法研修Ⅰ

5月11日(木)～7月20日(木)

*教授法研修Ⅱ

9月14日(木)～11月2日(木)

毎週木曜日の全18回(6月22日は除く)

ただし、研修Ⅱには、音声と在留資格の講習会が追加(日程は10月の土曜日を予定)されます。

時間：午後2時～4時

場所：フチュール第1会議室

定員：15名(市民の方で募集済み)

参加費：5000円(テキスト代2500円が別途必要)

講師：山田しげみ先生(東京外大オープンアカデミー講師)

*なお、現ボランティアの方々も聴講できます。詳しいことはサロン事務局にお問い合わせください。
(研修部会)



「2023年度の受託費と予算が決定」

4月12日(水)に開催された本年度第1回目の実行委員会において、2023年度(令和5年度)の府中市からの受託費が、1,784,000円(前年度は1,864,000円)に決まり、それに伴う予算案が承認されました。予算の詳しい内訳は、サロン事務局にある実行委員会の配布資料をご覧ください。
(編集部)

「市職員の異動のお知らせ」

2015年(平成27年)4月に協働推進課(現・多様性社会推進課)に着任された三竹聡さんが、この4月の異動で文化生涯学習課へ移られました。

8年の長きにわたりサロンの活動を支えてくださったことに深く感謝いたします。特に、コロナ感染が蔓延した時期には、いろいろな活動が制限される中、対応策を立てていただいたり、また、「フチャール」への移転に際しては多大な支援をいただいたり、そのご尽力に誌面を借りて深くお礼を申し上げます。

三竹さんの後任には、これまで児童青少年課に在籍されていた井上直哉さんが着任されました。

「フチャール」において新たなスタートを共にすることになりますが、サロンの良きパートナーとして、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。
(編集部)



「日本語を誌上で学習しよう！」

今回は、「みんなの日本語」初級I標準問題集の復習(18~25課)からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましょう。

■問題

例のように、aからjまでの()内のことばを適切な形に変えてください。

例) 山田さんに細かいお金を(貸します→貸して)もらいました。

父の趣味は野菜や花を(a. 作ります→)ことです。庭でいろいろな野菜や花を作っています。父は自分で(b. 作りました→)野菜や花を近くの人に(c. あげます→)り、友達に(d. 送ります→)りします。野菜を(e. 食べました→)人はみんなとても(f. おいしいです→)と言います。雨が(g. 降ります→)と、庭で仕事ができせんから、うちで料理を作ります。父は料理が(h. 上手です→)と思います。でも、とても時間がかかります。4時ごろ晩ごはんの準備を(i. 始めます→)も、食事は(j. 7時ごろです→)なります。

* 答は編集後記の後にあります。



「企画部会が活動を再開します」

～編集後記～

2021年秋から休会中だった企画部会が、今年度から活動を再開します。4月12日（水）に開催された実行委員会において、金曜午後部会の漢人邦夫さんが企画部会長に就任することが承認されました。

コロナ前と変わらぬ活発なサロンを目指して、「サロン交流会」をはじめ、「バス研修」、「バーベキューの集い」、学習者が日本語を発表する機会等々、日本語学習会のほかにも楽しい交流の場を計画中です。どうぞお楽しみに！

現在、企画部会員を募集中です。企画部会の活動にご興味のある方のご参加をお待ちしています。申込みは、漢人さん、または各学習部会長かサロン事務局へお願いいたします。（編集部）

4月からフュールに移転して再開された学習会ですが、みなさま前と変わらず元気で活躍なさっていることと思います。

引越すにあたって、市の方々、事務局の方々、引越し準備委員の方々、お手伝いいただいた多くの方々に感謝いたします。

会報部会も、『くろすろ一ど』をフュールで4月にはじめて印刷しました。印刷機は、前と同じものなので困りませんでしたが、折り機がないため、手作業で折りました。この日は、月曜午前部会で、手の空いているボランティアの方がお手伝いして下さいました。このようにどなたかお手伝いをしていただけたらうれしいです。

もちろん会報部会では、部会に入っただけの方を募集しております。興味のある方はお声をかけてください。（堤林）

「日本語を誌上で学習しよう！」の答

- a) 作る b) 作った
- c) あげた d) 送った
- e) 食べた f) おいしい
- g) 降る h) 上手だ
- i) 始めて j) 7時ごろに

【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：堤林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

